
楽しく、美しく、地域に喜ばれる建物を目指して
グラフィックデザイン学科学生がアパート外壁をデザインしました



東北芸術工科大学（山形市／学長 中山ダイスケ）グラフィックデザイン学科の学生がデザインしたアパート外壁が完成しました。

この外壁デザインは、アパートのオーナーが、以前より「建物の塗装で何かを発信することができれば」と考え、住んでいる人や近隣住民から愛されるような色彩とデザイン性を持つ外壁のデザイン依頼を本学に相談いただいたことで実現しました。

入居対象者は大学生を主にしており、学生が住んでみたいと感じてもらえるデザインを意識。本学グラフィックデザイン学科 澤口俊輔教授のゼミ生6名（全員4年生）がそれぞれデザインを提案し、櫻井里菜さんのデザインが採用されました。住宅が並ぶ風景のなか、その場所で変に派手で浮かないような風景になじむようなデザインとして、風に草花が揺れている、明るくさわやかで気持ちの良い印象のデザインとなっています。

本学では近年、ホテルや遊園地など観光施設でのアート作品やデザインの設置、駅前開発に関するトータルデザイン、病院の院内サイン計画など、建築物に対してのプロジェクトを多く手掛けています。その一例として本件および本学の様々な事例に関して、ぜひ広報いただきたくお願い申し上げます。

本件に関する問い合わせ先 地域連携推進課(共創デザイン室) TEL: 023-627-2139